

平成20年 3月26日

各 位

本 社 所 在 地 大阪市中央区農人橋一丁目 1 番22号  
大江ビル10階  
会 社 名 株式会社ナチュラム  
代 表 者 代表取締役会長兼社長 中島 成浩  
(コード番号：3090 大証ヘラクレス)  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 高橋 要  
電 話 番 号 06-6910-0010  
U R L <http://www.naturum.jp/>

### 取締役、監査役及び補欠監査役の選任に関するお知らせ

当社は、平成20年3月26日開催の取締役会において、平成20年4月25日開催予定の第8期定時株主総会に、「取締役1名選任の件」、「監査役2名選任の件」、及び「補欠監査役1名選任の件」を付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 取締役1名選任の件

今回の取締役1名選任は、中国本土におけるEコマース事業の本格参入を目的として、経営陣の充実強化を図るものであります。

取締役候補者は、インタセクト・コミュニケーションズ株式会社の代表取締役として、ソフトウェアの開発を主たる事業として行い、また、中国に複数の子会社を持ち、ソフトウェアのオフショア開発を行うなど、日本と中国の両国に亘る豊富な経験と幅広い見識を備えた人材であり、当社中国Eコマースの事業展開における最適の事業パートナーとして迎えるものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

氏 名 (生年月日)	略歴、地位、担当及び他の法人等の代表状況	所有する 当社の株 式の数
譚 玉 峰 (昭和39年5月12日生)	平成5年4月 アンサー株式会社入社 平成12年11月 インタセクト・コミュニケーションズ株式会社設立 代表取締役就任(現任) 平成14年3月 音泰思計算機技術(成都)有限公司設立 董事長就任(現任) 平成16年3月 成都音和娜網絡服務有限公司設立 總經理就任(現任) 平成18年6月 北京音泰思計算機技術有限公司設立 總經理就任 平成19年10月 同社 董事長就任(現任) 現在に至る。	株

- (注) 1 譚玉峰氏は、インタセクト・コミュニケーションズ株式会社の代表取締役を兼務しております。同社は、当社の株主(80株保有、保有比率0.70%)であるほか、当社から同社へシステム開発を依頼する等の取引関係があります。
- 2 譚玉峰氏は、成都音和娜網絡服務有限公司の總經理を兼務しております。同社は当社の子会社(当社の出資割合53.2%)として予定しているほか、同社へ日本語データ登録及び画像データの入力作業等を委託する取引関係があります。

## 2. 監査役2名選任の件

監査役岡本健一氏は、本総会の終結の時をもって任期満了となります。また、当社は、会社法第328条第1項により監査役会の設置が必要となることから、会社法第335条第3項の要件を満たすため、新たに1名の増員が必要であります。つきましては、監査役2名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役全員の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当及び他の法人等の代表状況	所有する株式の数
1	岡本健一 (昭和15年12月24日生)	昭和38年4月 松下電器産業株式会社入社 昭和52年5月 イギリス松下電業株式会社出向 平成3年5月 フランス松下電器株式会社出向 平成16年2月 当社監査役就任 平成16年4月 当社常勤監査役(現任) 現在に至る。	株
2	浅野弘 (昭和12年7月8日生)	昭和35年4月 松下電器産業株式会社入社 昭和61年5月 アメリカ松下電器株式会社出向 平成14年4月 財団法人社会経済生産性本部認定経営コンサルタント 平成19年5月 社団法人アジア協会アジア友の会理事(現任) 現在に至る。	株

- (注) 1 は新任の監査役候補であります。
- 2 候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
- 3 岡本健一氏及び浅野弘氏は、社外監査役候補であります。

3. 補欠監査役 1 名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備えて、補欠監査役 1 名の選任をお願いするものです。

なお、本議案に関しましては、監査役全員の同意を得ております。

補欠監査役候補者は、次ぎのとおりであります。

氏 名 (生年月日)	略歴、地位、担当及び他の法人等の代表状況	所有する当社の株式の数
檜 垣 健 志 (昭和21年 3 月 4 日生)	昭和44年 4 月 株式会社パリス入社 平成 9 年 9 月 大研医器株式会社入社 平成12年 4 月 同社 総務人事部 部長 平成16年 4 月 同社 内部監査室リーダー 平成19年 6 月 当社入社  現在に至る。	株

(注) 候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

以 上